

団体名	三次市	所属	育児支援課	他団体等との連携	—
連絡先	育児支援係 (0824)62-6247				

取組事例名	子どもが喜ぶ窓口・スペースづくり	取組期間	平成24年度～
--------------	------------------	-------------	---------

取組の概要 ～ 来庁者が楽しくなる空間づくり

育児支援課及び保育課のある三次市福祉保健センター3階には、子育て世代の親子からトレーニングルーム利用の高齢者まで幅広い来庁があるものの、育児支援課や保育課に気軽に立ち寄り、相談するといった雰囲気が無く、来庁者同士の交流も少ない状況であったことから、待合や廊下のスペースを活用し、利用者が笑顔になれる空間づくりにより、気軽に育児相談等ができる雰囲気づくりに取り組んだ。

取組の背景 ～ 殺風景な空間

三次市福祉保健センター3階には、子育て支援部事務室のほかに、トレーニング機器などを備えた健康増進室と親子の遊び場や託児の際に利用される多目的室があるため、乳幼児を連れた親子からトレーニングに通う高齢者まで幅広い年齢層の利用がある。
長い廊下には休憩のためのソファを設置し、広い開口部の窓があり開放感あふれる空間となっているものの、殺風景でコミュニケーションが少ない状況であった。

取組のねらい ～ 笑顔になれるふれあい空間

小さな子供を育てている方や育児に不安を持つ方が、気軽に窓口を訪れ相談することができる雰囲気づくりを行う。
また、トレーニングに通う高齢者と窓口を訪れる親子の触れ合いを通じて、親子と高齢者がともに笑顔になれる空間をつくる。

取組の具体的内容 ～ 子どもの笑顔を引き出す飾りつけ

1 子ども向けの飾り付け

アンパンマン等のキャラクターを色画用紙で手作りし、廊下窓全面に飾りつけを行った
また、子育て支援部事務室窓口（カウンター）に、アンパンマンのぬいぐるみ等を置いた。



廊下窓への飾りつけ



子育て支援部事務室のカウンターの様子

2 大人向けの展示

季節の花々を飾るとともに、手芸品等の展示も行った。

取組を進めていく中での課題・問題点 ～ 展示物更新の負担

職員だけで展示物を更新していくことに負担が生じていた。

創意工夫した点 ～ 展示物の自由持ち込み

職員だけでなく、来庁者が自分で育てた草花や創作作品を持ち寄り、展示できるように廊下に展示スペースを設けた。



来庁者が持ち込んでくださった盛り花や、創作作品の数々

取組の成果（効果） ～ 交流の拡大

窓の飾りつけは子どもたちに大変好評で、ひとしきり眺め、親子で会話をしている様子が見られる。また、長机の展示スペースは、福祉保健センター利用者が自分で育てた草花や創作作品を持ち寄っている。

これらをきっかけに利用者同士や利用者と職員が会話をする機会が増え、施設の雰囲気が向上し、トレーニングルームを訪れる高齢者と育児相談に訪れた方との交流が、育児に関する不安の緩和に役立っていると感じられる。

今後の展開 ～ 展示のPR

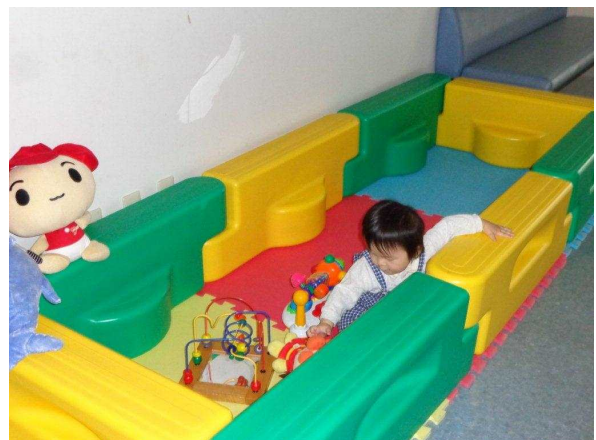
展示物を持ち寄る来庁者が固定化しつつあるため、多くの市民に創作作品等の展示の場として活用して頂けるよう、福祉保健センターを利用する各種団体に対し、展示可能なことをPRする。

他団体へのアドバイス ～ 市民の力を活かす

自分たちだけで出来る範囲は限られているため、市民（利用者）の巻き込みが重要と考える。



記載台にもグッズ設置



事務室カウンターそばのキッズコーナー